

地域の太陽 あおがきっ子

青垣小学校 校長だより 令和8年10月号 発行責任者 植木政行

『あったか言葉』がいっぱいの青垣小学校にしたい！

笑顔いっぱい！290人あったか会（平成30年度）

統合2年目の6年生は、「あったか言葉がいっぱいの青垣小にしたい！」という願いを実現しようと、児童会行事『笑顔いっぱい！290人あったか会』を開催しました。

「ジェスチャーリレー」、「お絵かきリレー」、「じゃんけん列車」など、あったか言葉でつながっている全校生が力を合わせて行うプログラムを実施しました。



体育館いっぱいにあふれる全校生290人の笑顔

コロナ禍も「あったか言葉」でつながる（令和3年度）

さまざまな活動が制限されたコロナ禍においても、青垣小学校では、「あったか言葉」を教育活動の柱にしてきました。

令和3年度は、全校生によるたてわり掃除ができなくても、6年生が1年生の教室に支援に行き、「あったか言葉」でつながり、一緒に活動しました。このときの1年生が、今年度6年生になりました。今年の青垣小も、「あったか言葉」で、一人ひとりが全校生や地域の方とつながり、生活を楽しく豊かにしています。



コロナ禍も、全校生の絆を深める「あったか言葉」

「あったか言葉」でつながる あおがきっ子（令和8年度）



入学式 在校生歓迎のことば



1年生をむかえる会



2年生による
1年生学校案内



民生委員児童委員
バス登校指導



クラブ活動



運動会 応援合戦練習

みんなで挑戦 あったか言葉ひろば



児童昇降口の掲示板 全校生が言葉の言いかえにチャレンジし、『あったか言葉の木』を育てています。

生活のなかで、思ったことをそのまま口にしたたり、言い方や語尾がきつくなったりすることで相手をいやな気持ちにさせてしまうことがあります。

そこで、青垣小学校では、自分や相手の心が元気になったり楽しくなったりする言い方に言いかえる取組にチャレンジしています。

自分が選ぶ言葉次第で、自分の心も相手の心も変わるということを理解し、適切な言葉を選ぶことをねらいとしています。

言葉は心。思いやりの心を育て、まわりの人とよりよい関係を築くことができるようになることを願っています。

『言いかえのまほう 5つのルール』学んだ子どもたちの感想

言いかえ5つのルール ①質問に変える ②お願い、事実に変える ③相手の気持ちに寄り添う
④自分の気持ちを伝える ⑤見方を変える

- あったかことばは、ハートをやさしくする。
- 自分がちくちくことばを言っているときも、友だちはあったかことばがいっぱいあっておちつくから、友だちはいいなとおもいます。
- ちくちく言葉をあったか言葉にかえられるとしたから、これから、ちくちく言葉をあったか言葉にかえたい。あと、ひょうじょうをかえていったら、もっとつたわるかもしれない。
- 学校だけじゃなくて、言いかえのまほうをつかいたい。わたしがおもいつかない場面での言いかえのまほうをすることができて、うれしかった。相手を大切にすると、自分を大切にできると思いました。
- 自分のいやな口ぐせ、「どうせ」を「きっと」にかえて行って、すぐあきらめずに、少しねばりたいなと思いました。前は思っていることを全て出していたけど、言いかえを使って、やさしくせっしていきたいと思いました。
- 1人1人の感じ方はちがうから、友だちに合わせた言葉づかいを大切にしようと思いました。言いかえのまほうをかけると、その人も、まわりの人も心がもやもやしないから、これからもっと考えようと思いました。

